5月は新茶の季節

暮らしに身近な亀山茶を知る

本市は、年間平均気温15度以上、年間降水量1,500ミリ以上という、お茶の栽培に最も適した温暖な丘陵地帯に位置しています。また、亀山茶の歴史は古く、今から約1,100年前に、今の四日市市水沢町に空海直伝の茶樹が植えられ、そこから鈴鹿山麓にお茶の栽培が広がったという言い伝えがあります。

こうして広がった亀山のお茶は、亀山市の気候や土質、茶農家の優れた製茶技術に支えられ、上品で濃厚な味わいと香り、コクのあるうまみが特徴の良質なお茶として、今に伝えられています。

問合先　農林振興課農林政策グループ　（☎84−5068）

作る　亀山茶の“若き担い手”にお話を伺いました

茶農家　伊達（だて） 光永（みつなが）さん（辺法寺町）

「亀山茶」の担い手として

祖父の代からの茶農家に生まれ、やりがいを持ってお茶の仕事に取り組んでいる父親の姿を、幼い頃から間近で見て育ちました。自分としては、「20歳になったら家業を継ぐ」と決めていて、この仕事に就いてから今年で15年になります。

お茶の仕事は自然が相手ということもあって、霜害や日照、降水量など、毎年毎年、状況が変わるので本当に難しいですが、亀山市茶業組合の諸先輩方から日々さまざまな指導をいただき、お茶を作ることができています。先輩方には本当に感謝しています。また、組合の中には、より良いお茶を作るためなら、どんなことでも意見交換できる雰囲気があり、その点もありがたいと感じています。

お茶を飲んでいただいたお客様からは「おいしかったよ」、「ありがとう」という感想やお礼の言葉を直接伝えていただくことができ、少しずつお茶づくりが身に付いてきたのかなとうれしくなりました。

地域の子どもたちに「亀山茶」を知ってもらう

昨年、野登小学校で、3年生の総合学習の時間に「定植体験」を初めて行いました。お茶を摘む体験だけでなく、お茶がどうやって植えられて、どのくらいで育つのかというところから知ってもらい、子どもたちにはお茶とのつながりを長く持ってほしいと思い、自ら働き掛けました。

当日は、子どもたちから「どれくらいで大きくなるの?」、「このお茶飲みたい!」という声を聞くことができ、楽しみながら学ぶ機会を提供できました。地域の子どもたちには、自然の中で育つお茶のようにたくましく成長するとともに、保育園や小学校に通う頃から長くお茶に関わることで、お茶を身近なものと感じて大きくなってほしいと思います。

これからの「亀山茶」への思い

茶農家として、まずは経営面の安定が重要です。昨今のエネルギー価格の高騰は、お茶づくりにも直接影響が出ていますので、お茶のおいしさなどを知っていただく機会を作って、日頃からお茶を飲んでいただき、消費量の拡大につなげていければと思います。

長期的には、生産者の高齢化が進んでいることもあり、今後も亀山のお茶を大切に受け継いでいかなければいけないと感じています。

地域においしいお茶があり、地元の農家が大切に育てているということを大人だけでなく次世代を担う子どもたちにも知ってもらうことが大切だと思います。

新茶の季節をきっかけに、多くの方に亀山茶を飲んでいただき、そのおいしさとともに、お茶にかける農家の思いを感じていただけたらありがたいと思います。

楽しむ　亀山茶に触れる

●亀山高校の生徒によるお茶摘み体験

4月14日（金）、亀山市茶業組合主催の初もみ研修会に亀山高校2年生の生徒38人が参加し、茶摘みを体験しました。

当日は、組合員の指導のもと一生懸命、新芽を摘む生徒の姿が見られました。この日摘採された茶は「新茶まつり」で市民の皆さんにふるまわれます。今年一番の新茶の味をぜひお楽しみください。

新茶まつり

と　き　5月11日（木）　午前10時～午後3時
ところ　市立図書館1階 休憩スペース

広げる　亀山ブランドの展開

亀山ブランド

市の魅力ある特産品を全国に発信するため、令和3年度から認定している「亀山ブランド」の中にも、亀山茶に関わるものがたくさんあります。また、昨年9月には、市と三重茶農業協同組合が「亀山茶ペットボトル業務連携協定」を締結し、4月に亀山茶ペットボトルが復活しました。

亀山ブランド認定品や亀山茶ペットボトルは、市内の直売所などでお買い求めいただけますので、ぜひご自宅やお出掛け先でお楽しみください。

亀山茶ペットボトル
（三重茶農業協同組合）

特上煎茶
（市川大楽園）

龍乃髭バウムクーヘン
（有限会社 瑞宝軒）

山里
（御菓子司 生甘堂）

銘菓 関の戸シリーズ
（有限会社 深川屋）

特上かめやま
（三重茶農業協同組合）

撮る　第22回亀山青空お茶まつりフォトコンテスト 作品募集！

亀山茶（市内の茶畑の風景や亀山茶のある暮らしなど）を題材とした写真を募集します。

応募作品　カラープリント4つ切（ワイド4つ切可）の単写真　※1人につき3点まで
賞　　名　亀山市長賞、亀山市議会議長賞、亀山青空お茶まつり実行委員長賞
応募期限　8月1日（火）必着
応募方法　農林政策グループ（本庁2階）に備え付けてあるフォトコンテスト応募要領に付属の応募票に必要事項を記入し、写真の裏面に添付の上、直接または郵送で農林政策グループ（〒519−0195 本丸町577）へ提出してください。
※応募作品は原則として返却しません。

第21回亀山青空お茶まつりフォトコンテスト
亀山市長賞　「夕暮れ時」
（内山 小夜子さん）